

W3Cにおける標準化活動

Atsushi Shimono
(W3C/Keio)

JANOG49 / 2022/01/27

W3Cでの標準化の流れの概要

Strategy Funnel

Investigation

Workshops; Market Analysis; News & Networks;
Meeting communities where they are (events & confs); Hackathons; vNext

Incubation

CGs, BGs, IGs; Reports, Prototypes, Drafts

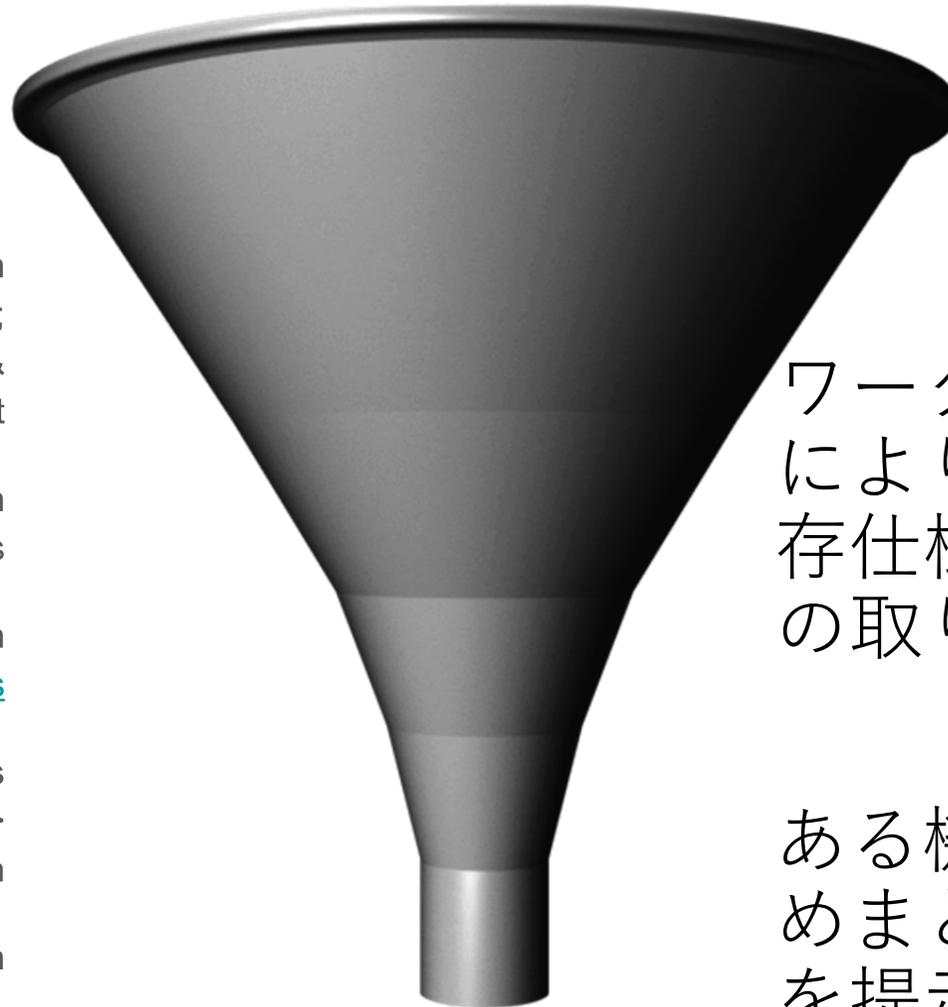
Evaluation

[Intent to Migrate](#); [Rec-Track Readiness](#)

WG Charter Deliverables

->Project Management; A&T review->
possible transmission back to incubation

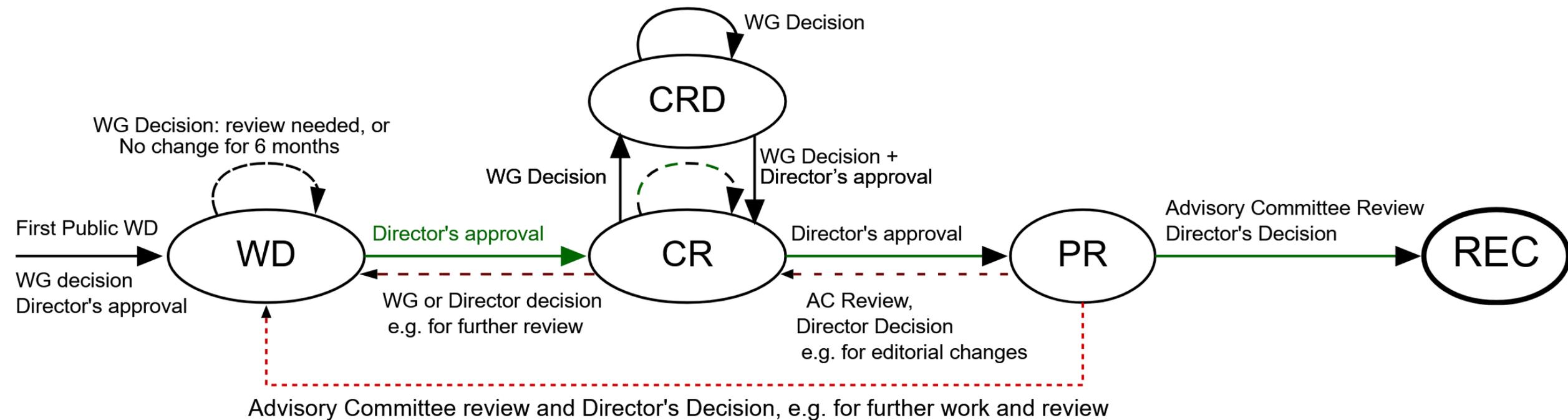
Recommendation



ワークショップの開催などにより新規領域の開拓や既存仕様への新ユースケースの取り込みを進める

ある機能について検討を進めまとまった所でexplainerを提示し仕様書として詰めていく

<https://github.com/w3c/strategy/projects/2>



- 最初のWD（草案）の公開以降、最新版はw3.org/TR/に公開
 - W3C外の団体などからのコメント・レビューも受付
- CR（勧告候補）への移行前に仕様に対するレビューが入る
 - TAG、セキュリティー・プライバシー、a11y、i18n
 - 仕様がほぼ固まった状態（変更可能性の点にはat-riskの表示がつく）
- PR（勧告案）への移行前に相互可用性担保の為に実装が必要
 - REC（勧告）への移行にはW3C会員団体によるレビューが入る

W3Cの活動領域

ビジネスエコシステム：技術ニーズへの追随

ウェブペイメントと商取引

デジタル出版

メディアとエンターテインメント

ウェブと通信

自動車と運送

Web of Things

ウェブ広告

ウェブに関わる領域がメインだがデータ関連も

- ウェブブラウザ向けの仕様
 - CSS, WebAudio, Device API, WebFont, WebPayments, etc.
- 他団体との協業でのブラウザ向けAPI
 - WebRTC, WebAuthn, WebTransport, etc.
- データフォーマット（古くはXML/XSLとか）
 - RDF, JSON-LD
- データ交換手続・フォーマット
 - Verifiable Credentials (VC), Decentralized Identifier (DID), EPUB, Web of Things, 字幕, Automotive, etc.

W3Cプロジェクト：ウェブコア技術の進化

オーディオ

ブラウザテストとツール

CSS

データ交換

非集権ID

デバイスとセンサー

ウェブでの編集

フォント

HTML

ウェブと機械学習

数式

ミニアプリ

ウェブアプリケーション

WebAssembly

<https://www.w3.org/2021/10/w3c-highlights/Overview.html.ja>

活動状況をウォッチしていくために

- 半年ごと公開の活動概要: <https://www.w3.org/Consortium/highlights/>
 - W3C全体についての半年ごとのサマリー（日本語版は公開1-2か月位で）
- Weekly Newsletter: <https://www.w3.org/News/Public/>
 - Blog記事もあります: <https://www.w3.org/blog/>
- Monthly summary: <https://w3ckeio.github.io/monthly-summary/>
 - 月刊の全体サマリーで、ニュース・ブログ、仕様更新、新規GitHubレポジトリ、WGに関する検討状況、などの一覧
- 活動領域検討: <https://github.com/w3c/strategy/issues>
 - WGの立ち上げ（憲章策定）や、ワークショップ開催などの議論場所